

2026年度 前期A方式入学試験問題

理系型受験

- ◆機械工学科
- ◆機械システム工学科
- ◆電気電子工学科
- ◆建築学科／建築専攻（理系型）
- ◆建築学科／インテリアデザイン専攻（理系型）
- ◆建築学科／かおりデザイン専攻（理系型）
- ◆建築学科／都市空間インフラ専攻（理系型）
- ◆情報システム学科
- ◆情報デザイン学科（理系型）
- ◆総合情報学科（理系型）

国

語

受験上の注意

※必須教科を含め3教科受験型です。受験する教科数に過不足があると判定しない場合がありますので注意してください。

1. 受験票は、机の端の見える位置に置いてください。
2. 解答用紙はマークシート（解答用紙 A）が1枚、記述（解答用紙 B）が1枚です。
3. 試験監督者の指示により、氏名、入学試験種別、受験型、受験番号をマークシート（解答用紙 A）と解答用紙 B の指定された場所に必ず記入・マークしてください。
4. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
5. 試験開始後は、試験終了まで退室できません。
6. 用件のある場合は、手を挙げてください。
7. 解答は、マークシート（解答用紙 A）と解答用紙 B のそれぞれ指定された解答欄に記入・マークしてください。
8. マークシート（解答用紙 A）の記入上の注意
 - (ア)マークシート（解答用紙 A）の解答欄は1～18まで使用します。
 - (イ)マークシート（解答用紙 A）に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
 - (ウ)マークは、鉛筆もしくはシャープペンで、ていねいにマークしてください。また、訂正の場合は消しゴムで完全に消してください。
 - (エ)解答はマークシート(解答用紙 A)に記載のマーク例を参考に解答欄にマークしてください。例えば10と表示のある問いに対して3と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしてください。

(例)

9. 問題用紙は持ち帰ってください。
10. 解答用紙 B の※印の欄には記入しないでください。

解答 番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

[一]

次の文章を読んで、後の問い（問一～七）に答えよ。ただし、解答は指定された解答用紙に記入すること。

省略(注)

省略(注)

省略(注)

問一 傍線部(ア)～(エ)のカタカナを漢字に改め、**解答用紙B** に答えよ(楷書で正確に書くこと)。

問二 傍線部(ア)「素人」の対義語は、一般に「」人だとされている。この空欄に入る漢字一字を、**解答用紙B** に答えよ(楷書で正確に書くこと)。

問三 空欄 A C に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選び、**解答用紙A** に答えよ。ただし、同じ言葉を繰り返し用いてはならない。解答番号は、Aは1、Bは2、Cは3。

- ① 表面的 ② 潜在的 ③ 両義的 ④ 一義的 ⑤ 包括的

問四 空欄 X に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A** に答えよ。解答番号は4。

- ① なんらかの規制措置を実施するには十分な科学的証拠が不可欠である
② 十分な科学的証拠がなければ、いかなる規制措置も実施してはならない
③ 不十分な科学的証拠を補うものが見つかれば、規制措置の実施をためらう必要はない
④ 科学的な証拠の有無にかかわらず規制措置の実施には、一定の歯止めをかけるべきだ
⑤ 科学的証拠が不十分であることを、規制措置の実施を控える理由とすべきではない

問五 傍線部①「社会的合理性」とあるが、これについての説明として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A** に答えよ。解答番号は5。

- ① 科学的合理性の立場からすれば必ずしも合理的とは言えないものになる可能性は、否定できない。
② 社会的リスクをどう判断すればよいかという局面において、きわめて重要な位置を占めるものである。
③ 科学のみでは確実な結論を出せない領域が広がるなか、何らかの合意を形成するうえで重要になるものである。
④ 科学技術がもたらすリスクが広がり続けるなか、そうしたリスクを軽減する手段として生み出されたものである。
⑤ 科学的な真理に合致しないとしても、感情論や個人の恣意的な意見とは一線を画すものであるはずだ。

問六 傍線部②『コンセンサス会議』とあるが、こうした会議が必要とされる背景にあるのはどのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **6**。

- ① 科学が細分化される傾向が強まるなかで、そうした科学では環境問題や原発事故のような事態に対して対処できないという認識が、第三者である市民の間から生まれていること。
- ② 科学の専門化と細分化が進み、専門家と市民との乖離^{かいり}が広がるなかで、専門家だけでなく市民も科学技術がもたらす問題に関わるべきだという意識が広がっていること。
- ③ 専門家と市民との知識の格差が広がり続けるなかで、市民が専門家に代わって問題解決の担い手になることでしか事態は好転しないという認識が浸透していること。
- ④ 環境問題の解決には市民の持つ社会的合理性と専門家の持つ科学的合理性とを兼ね備えた人材を育成することが急務であるという認識が、専門家の間から生まれていること。
- ⑤ リスク社会のなかで生きる人間は、好むと好まざるとにかかわらず、科学的合理性と専門的知識という背反する二つのものを獲得する必要があるという考えが自明となったこと。

問七 筆者の考えに合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **7**。

- ① 古典的産業社会における政府の役割は、富をいかに分配するかということに制限されていたが、ポスト産業社会に入るとそうした制限が解除され、リスクの軽減もなすべき役割の一つとみなされるようになった。
- ② 地球温暖化を解決することが難しいのは、ひとえに責任の所在を突き止めることができないからであるが、そうしたことが生じてしまうのは、地球温暖化が科学技術によってもたらされた問題だからである。
- ③ 環境ホルモンの影響については、科学者の間でも意見が一致しているわけではないが、それは人体実験が禁止されているからであり、そのためそうした科学に対する制限を撤廃すべきだという声が広がり始めている。
- ④ 自分たちの世代だけで化石燃料を使い果たしてしまうことは次の世代の権利を奪うことになるが、放射能汚染物質の処理を次の世代に任せてしまうことに比べれば、まだしも倫理的に許容されるべきところがある。
- ⑤ 科学技術からリスクをなくすことはできないが、科学技術がもたらす問題について特定の立場の人間に一任することなく、開かれた場で討議することは、科学技術とのよりよい関係を築くうえで必要なことである。

[二]

次の文章を読んで、後の問い（問一～五）に答えよ。ただし、解答は指定された解答用紙に記入すること。

省略(注)

省略(注)

問一 傍線部(ア)～(ウ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選び、**解答用紙A**に答えよ。

解答番号は **8** **10**。

- (ア) チユ |
- 8**
- ① 船でユソウする。
② 権力とユチャクする。
③ ユダン大敵。
④ 読書のユエツに浸る。
⑤ 物見ユサン。

- (イ) ケイセイ |
- 9**
- ① シセイを正す。
② 許可をシンセイする。
③ セイヤク書を交わす。
④ 海外にエンセイする。
⑤ ヘンセイ風が蛇行する。

- (ウ) イッシヨ |
- 10**
- ① ショホウセンをもらう。
② ユイシヨある建造物。
③ ショコクを遍歴する。
④ ヒシヨ地に赴く。
⑤ ショミンの生活。

省略(注)

問二 傍線部①「印象的な思い出」とあるが、これについて筆者はどのように述べているか。その説明として誤っているものを、次の

① ～ ⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **11**。

① 将棋の公式戦ではありえないようなことを経験したが、その経験は後の私に、単に将棋のことにとどまらない問題を考えさせるきっかけになったといえる。

② 勝ちに執着するところのある対戦相手は、将棋の弱い者に対する気持ちを率直に吐露した文章を書いていたが、それを読んであれこれと考えさせられた。

③ 将棋の公式戦で口三味線を使うことに対して節度がないとも感じたが、勝つことに執着する対戦相手の気持ちは、それなりに理解することができた。

④ 相手の口車に乗ったこともあつて将棋の対戦に負け、相手の態度に不快を覚えたが、負けた理由は自分の側にもあるということとは認めざるをえなかった。

⑤ 嘘をついてまで勝とうとする相手に対し、対局直後は反感を抱いたが、後にその相手の書いた文章を読んで、負けることを嫌うその態度に敬意を抱くことになった。

問三 空欄 **X**には本文中の言葉が入る。その言葉として最も適当なものを、次の① ～ ⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に

答えよ。解答番号は **12**。

① 環境 ② 慣れ ③ 皮肉 ④ 嘘 ⑤ 刺激

問四 傍線部②「将棋が弱い連中は、負けるのが上手だ」とあるが、「負けるのが上手」とはどういうことか。「ホメオスタシス」という言葉を必ず用い、五十字以内（句読点や記号なども字数に含める）で、**解答用紙B**に答えよ。

問五 筆者の考えに合致するものとして最も適当なものを、次の① ～ ⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **13**。

① 環境に慣れ、どんなことも心理的抵抗なしに受け入れようとする柔軟な態度が、私たちには求められている。

② 確固たる心理的ホメオスタシスを持っている人間ほど、生物としてのホメオスタシスは低いという傾向が見られる。

③ 自分の心理的ホメオスタシスの中にどういうものが入っているのかといったことを意識することは大切である。

④ 心理的なホメオスタシスは、生理的なホメオスタシスと同じように、個人によって大きく異なるものである。

⑤ 心に痛みを覚えず嘘をつくことと将棋で口三味線を弾くことは一見似ているが、両者の間には本質的に大きな違いがある。

[三]

次の文章を読んで、後の問い（問一～五）に答えよ。ただし、解答は指定された解答用紙に記入すること。

省略(注)

省略(注)

省略(注)

省略(注)

問一 傍線部(ア)～(エ)のカタカナを漢字に改め、**解答用紙B**に答えよ(楷書で正確に書くこと)。

問二 空欄 **A** 〃 **C** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選び、**解答用紙A**に答えよ。ただし、同じ言葉を繰り返し用いてはならない。解答番号は、**A**は **14**、**B**は **15**、**C**は **16**。

- ① もしくは ② ところで ③ まず ④ かりに ⑤ ただし

問三 空欄 **X** に入れるのに最も適当な語を、本文のこの空欄以前の部分から抜き出し、**解答用紙B**に答えよ。

問四 傍線部「ここでは、生成AIを使ってエッセイを書かせるという試みについて紹介したい」とあるが、AIが書いた「エッセイ」をめぐって筆者はどのようなことを考えたのか。次のA～Eの中にはその説明として適当なものが二つある。その二つの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は**17**。

- A AIに人間と同じように多様な経験を積ませたうえで、自由な発想をもたせるようにすれば、読者に面白いと感じさせるエッセイを書けるかもしれない。
- B 平均的な人間を上回る品質の文書を作成できるのがAIの特徴だが、その能力がエッセイを書くことに発揮されていない点が、AIの抱える最大の問題である。
- C AIと人間との間に信頼関係を築くことができるかどうか、今後AIが良いエッセイを書けるようになるかどうかを最終的に決めることになるだろう。
- D 現時点でのAIが人間の心理を十分に理解していないことを考えれば、そうしたAIにとって読者の心を動かすようなエッセイを書くことが困難なのも当然だといえる。
- E AIは思いついた平均的な体験を表面的な描写で書くことしかできないため、どうしても人間とは異なる独自の視点から書くことになってしまう。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① A・B | ② A・C | ③ A・D | ④ A・E | ⑤ B・C |
| ⑥ B・D | ⑦ B・E | ⑧ C・D | ⑨ C・E | ⑩ D・E |

問五 「人工知能」についての本文における説明として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は**18**。

- ① 生成AIにおいて言語を生成する「大規模言語モデル」や、画像を生成する「拡散モデル」は、実際には驚くほど単純な仕組みによって構築されている。
- ② 開発が進み、人間がもつ知能を実現する人工知能の能力が高まると、それによって人間固有の能力のありようが浮き彫りになるといったことが起こってきた。
- ③ 人間を超える能力をもつ人工知能が人間の目指す到達点と見なされるようになった現在、そこに到達するための方法を模索することが現実的な課題となりつつある。
- ④ 単純だが正しい方法を用いて、その規模を途方もなく拡大していくことを通して、高度な知能をもったような振る舞いをする人工知能が実現している。
- ⑤ 数十年にわたって進められてきた人工知能の開発の過程において、高度な知能を実現するための複雑な理論を計算機上に実装しようとする試みもあった。